

歴史(ヨーロッパの革命③・産業編)

イギリスは、綿糸や綿布を自国で作るために技術の改良を進め、そして、18世紀の終わりに、ワットが①_____の改良に成功し、イギリス産の綿布が工場で安く生産できるようになった。このような技術の向上による産業と社会のしくみの変化を②_____革命といい、19世紀のイギリスは「③_____」と呼ばれるようになった。また、②_____革命によって、④_____（資本家が経営者として、労働者をやとう）というしくみができた。しかし、その一方で④_____を批判する⑤_____の考えも唱えられるようになった。

一方、ドイツでは「鉄血宰相」と呼ばれた⑥_____が⑦_____を進め、1871年には帝国として統一した。アメリカは、1861年に⑧_____戦争が始まり、⑨_____大統領の指導のもと、合衆国の統一と奴隷の解放を図る北部が勝利した。ちなみに、⑩_____大統領は「⑪_____の政治」という有名な言葉を残した。